

工賃向上計画（H30-H32(2020)）

記入日

H30.5.30

1 事業所の概要

フリガナ 法人名	シャカイフクシホウジン ホウコウカイ 社会福祉法人 方光会	フリガナ 法人代表者名	カノウ コウヤ 加藤 幸也
フリガナ 事業所名	ワガノソノ 和賀の園	フリガナ 事業所代表者名	カワムラ マモル 川村 護
住所	〒 024-0323 岩手県北上市和賀町煤孫9-9-1 TEL: 0197-73-5123 Fax: 0197-73-5124 Email: waganosono@houkoukai.jp		
施設種別	就労支援継続B型事業所		
利用定員数 (H30.4.1現在)	25 名	利用現員数 (H30.4.1現在)	31 名
職員数 (H30.4.1現在)	19 人（うち、職業指導員6人、目標工賃達成指導員2人）		
事業所の特徴			
<p>生活介護と就労継続支援B型を運営する多機能型事業所。 就労継続支援B型での主な作業は、ゴミ処理施設の受付業務と建物内の清掃業務による施設外就労。その他北上市役所地下を間借しての食堂経営や、施設内ではダンボール組立作業や菓子・加工品の製造を行っている。生活介護でも就労B型で請け負った簡単な作業を行っており、B型利用者同様に工賃を支給している。</p> <p>施設外就労 計量受付業務・清掃作業請負（岩手中部クリーンセンター） 北上市役所地下 食堂ひだまり 営業時間11:00～15:00 日替わりランチ500円</p> <p>施設内作業 ダンボール組立、石の選別、資源回収（缶類・ダンボール・新聞）、野菜栽培（ピーマン、じゃがいも） 菓子・加工品製造 ソフトかりんとう（黒糖・塩ピーナッツ・えび風味） 糰なんばん、かりかり梅</p> <p>その他の事業 イベントでの軽食（そば、うどん等）提供販売</p>			

2 目標工賃

① 目標工賃の算出方法

月額	○
時間額	

目標工賃を算出方法として希望するものを、「月額」と「時間額」のどちらか一方のみ「○」を選択してください。

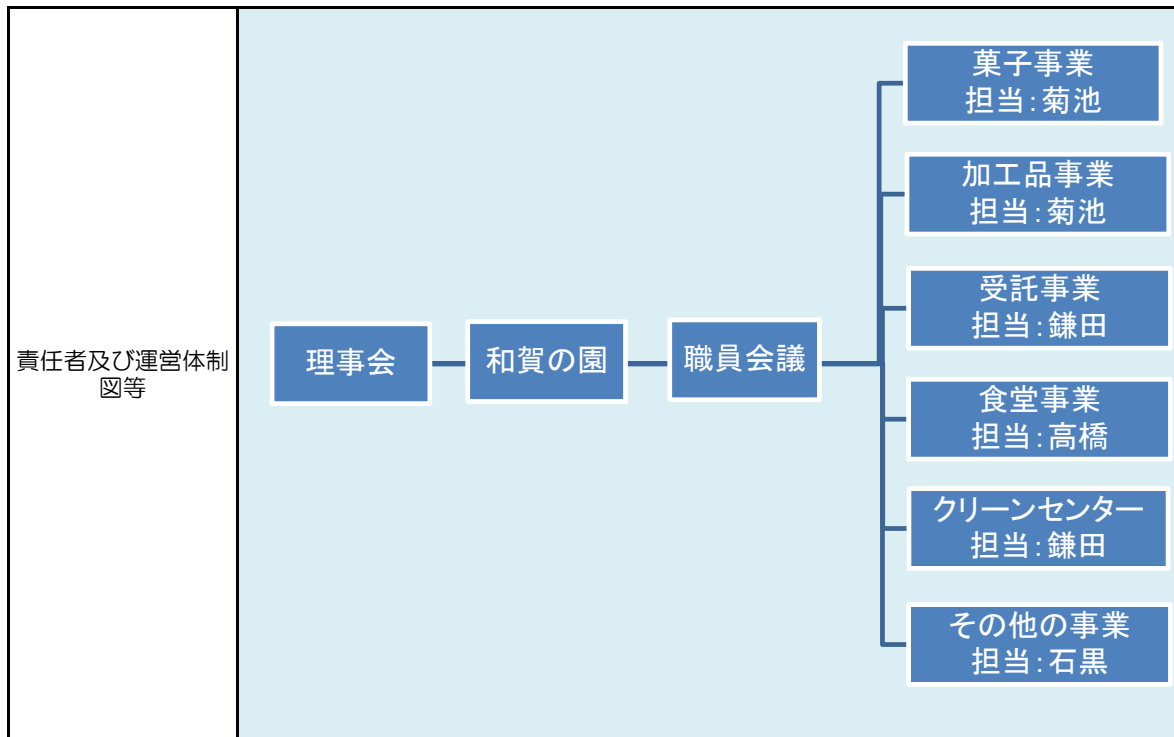
② 目標工賃額

	平均工賃（円）	
	月額	時間額
平成27年度(実績)	25,867	
平成28年度(実績)	27,698	
平成29年度(実績)	27,495	
平成30年度(目標)	28,045	
平成31年度(目標)	28,595	
平成32年度(目標)	29,145	

③ 目標工賃伸び率（H32年度目標額/H29年度実績額）

	目標工賃 伸び率	基準工賃 伸び率	目標工賃伸び率が基準工賃伸び率に届かない場合は、その具体的な理由を記載してください。
月額	6.0%	6.0%	
時間額	/	/	

④ 工賃向上計画の推進体制



3 既存事業の現状と評価

平成29年度実績合計	年間売上金額	17,932,533	利用人員数	29人	支払工賃総額	9,430,640
------------	--------	------------	-------	-----	--------	-----------

4 : とてもあてはまる 3 : ややあてはまる 2 : あまりあてはまらない 1 : 全くあてはまらない

作業科目とその特徴	現状及び評価						事業の課題と方向性	目標工賃達成に向けて(拡大・現状維持・縮小・撤退)
	事業の収益性(平成29年度実績)		事業の将来性(4段階評価)		事業の意義(4段階評価)			
<作業名> 菓子事業 <特徴> 利用者の特性を生かした作業。販売時には、人とのコミュニケーションを図っている。	年間売上金額(A)	624,960	①もつと販売・受注が見込める	4	④利用者の特性にマッチしている	2	(課題) 新商品の考案。 (方向性) 新商品の開発。	
	「原価」(B):①+②+③	790,475						
	①仕入:原材料費	207,621	②もつと生産量・受注量を増やせる	3	⑤利用者の職業能力の開発が見込める	2		
	②利用者以外の人件費							
	③その他経費	582,854						
	「粗利益額」(C):A-B	-165,515	③商品力・技術力が高い	3	⑥地域とのつながり・貢献性が高い	2		
	利用者人員(D)	29						
	一人あたり「粗利益額」(C/D)	-5,707						
支払工賃額(E)	1,571,779							
支払工賃額(E)÷粗利益額(C)	-950%							
<作業名> 加工品事業 <特徴> 利用者の特性を生かした作業。販売時には、人とのコミュニケーションを図っている。	年間売上金額(A)	421,984	①もつと販売・受注が見込める	3	④利用者の特性にマッチしている	2	(課題) 材料の高騰。 (方向性) 販路拡大。	
	「原価」(B):①+②+③	195,829						
	①仕入:原材料費	63,268	②もつと生産量・受注量を増やせる	3	⑤利用者の職業能力の開発が見込める	2		
	②利用者以外の人件費							
	③その他経費	132,561						
	「粗利益額」(C):A-B	226,155	③商品力・技術力が高い	3	⑥地域とのつながり・貢献性が高い	2		
	利用者人員(D)	29						
	一人あたり「粗利益額」(C/D)	7,798						
支払工賃額(E)	1,571,772							
支払工賃額(E)÷粗利益額(C)	695%							
<作業名> 受託事業 <特徴> 数社から多種多様な作業を請け負っている。作業内容・工程によって利用者の特性を活かすことができる。	年間売上金額(A)	1,973,493	①もつと販売・受注が見込める	2	④利用者の特性にマッチしている	4	(課題) 企業の納期が重なった時の対応。製品の保管場所。 (方向性) 納期が重なった時は、企業と交渉する。保管場所については、入替などで対応。	
	「原価」(B):①+②+③	392,851						
	①仕入:原材料費		②もつと生産量・受注量を増やせる	2	⑤利用者の職業能力の開発が見込める	3		
	②利用者以外の人件費							
	③その他経費	392,851						
	「粗利益額」(C):A-B	1,580,642	③商品力・技術力が高い	3	⑥地域とのつながり・貢献性が高い	2		
	利用者人員(D)	29						
	一人あたり「粗利益額」(C/D)	54,505						
支払工賃額(E)	1,571,779							
支払工賃額(E)÷粗利益額(C)	99%							
<作業名> 食堂事業 <特徴> 市役所食堂経営。利用者は、開店準備、配膳、接客、片付け等の業務にあたり、一般就労を目指した訓練実習の場を兼ねている。	年間売上金額(A)	7,073,210	①もつと販売・受注が見込める	4	④利用者の特性にマッチしている	3	(課題) 集客、メニューの考案。時期による材料の高騰。 (方向性) 売上が伸びているので、メニューの内容やボリューム等工夫し集客を増やす。	
	「原価」(B):①+②+③	4,875,950						
	①仕入:原材料費	3,923,104	②もつと生産量・受注量を増やせる	4	⑤利用者の職業能力の開発が見込める	3		
	②利用者以外の人件費							
	③その他経費	952,846						
	「粗利益額」(C):A-B	2,197,260	③商品力・技術力が高い	3	⑥地域とのつながり・貢献性が高い	4		
	利用者人員(D)	29						
	一人あたり「粗利益額」(C/D)	75,768						
支払工賃額(E)	1,571,768							
支払工賃額(E)÷粗利益額(C)	72%							
<作業名> クリーンセンター事業 <特徴> 地元クリーンセンターの受付業務と、館内の清掃業務。利用者は挨拶などに対して、一般市民の方々とコミュニケーションを図っている。	年間売上金額(A)	7,128,000	①もつと販売・受注が見込める	2	④利用者の特性にマッチしている	3	(課題) 限られた利用者による業務対応。 (方向性) 業務に関わる利用者の増員。	
	「原価」(B):①+②+③	627,166						
	①仕入:原材料費		②もつと生産量・受注量を増やせる	2	⑤利用者の職業能力の開発が見込める	3		
	②利用者以外の人件費							
	③その他経費	627,166						
	「粗利益額」(C):A-B	6,500,834	③商品力・技術力が高い	2	⑥地域とのつながり・貢献性が高い	4		
	利用者人員(D)	29						
	一人あたり「粗利益額」(C/D)	224,167						
支払工賃額(E)	1,571,773							
支払工賃額(E)÷粗利益額(C)	24%							
<作業名> その他の事業 <特徴> 各イベントへの参加。販売や接客の体験。	年間売上金額(A)	710,886	①もつと販売・受注が見込める	3	④利用者の特性にマッチしている	3	(課題) 同月にイベントが重なった時の職員体制。 (方向性) 通常業務に差し支えないよう、振替などで対応。	
	「原価」(B):①+②+③	384,192						
	①仕入:原材料費	362,720	②もつと生産量・受注量を増やせる	2	⑤利用者の職業能力の開発が見込める	3		
	②利用者以外の人件費							
	③その他経費	21,472						
	「粗利益額」(C):A-B	326,694	③商品力・技術力が高い	3	⑥地域とのつながり・貢献性が高い	4		
	利用者人員(D)	29						
	一人あたり「粗利益額」(C/D)	11,265						
支払工賃額(E)	1,571,769							
支払工賃額(E)÷粗利益額(C)	481%							
<作業名> <特徴>	年間売上金額(A)		①もつと販売・受注が見込める		④利用者の特性にマッチしている		(課題) (方向性)	
	「原価」(B):①+②+③							
	①仕入:原材料費		②もつと生産量・受注量を増やせる		⑤利用者の職業能力の開発が見込める			
	②利用者以外の人件費							
	③その他経費							
	「粗利益額」(C):A-B		③商品力・技術力が高い		⑥地域とのつながり・貢献性が高い			
	利用者人員(D)							
	一人あたり「粗利益額」(C/D)							
支払工賃額(E)								
支払工賃額(E)÷粗利益額(C)								

4. 改善計画シート

具体的作業名	改善テーマ	目 標	目標達成の方法	担当者名	評 価(期末記入欄)
菓子事業	新商品の開発	(30年度) 新しい味の開発 (31年度) 新商品の開発 (32年度) 販路の拡大	(30年度) 現在ある菓子(かりんとう)のバリエーションを増やす。他の商品を参考に、味もオリジナルのものを取り入れていきたい。 (31年度) かりんとうの他にも新商品開発を目指す。和風や揚げ菓子等、現在の工房内で作れるものをネット等で検索。 (32年度) 事業者向けの販売ルートを増やしていきたい。	菊池(知)	
加工品事業	販路の拡大	(30年度) 甘口・辛口の販売をやめ、味の統一を図る。 (売れ筋を把握し、味の検討) (31年度) 自家栽培野菜の継続。値段に左右されない商品作りを目指す。 (32年度) 産直へ出向くことを習慣化し、商品の売れ筋を把握。期限切れ、売り切れを少なくする。	(30年度) 甘口・辛口の販売をやめ、味の統一を図る。(売れ筋を把握し、味の検討) (31年度) 自家栽培野菜の継続。値段に左右されない商品作りを目指す。 (32年度) 産直へ出向くことを習慣化し、商品の売れ筋を把握。期限切れ、売り切れを少なくする。	菊池(知)	
受託事業	品質管理	(30年度) 現状の把握と見直し、確認。 (30年度) 現状の把握と見直し、確認。 (30年度) 現状の把握と見直し、確認。	(30年度) まずは指導する立場にある職員、そして作業に直接携わる利用者それぞれが理解し、取り組んでいる製品ごとの作業工程、作業環境、品質意識、品質知識などを確認、把握。それらを踏まえて現状を見直し、不良品を出してしまう原因・要因を究明。現物を保管し、注意喚起につなげる。 (31年度) 不良品を作業工程に入れない、作らない(生み出さない)、出さない(見逃さない)仕組みづくり。利用者それぞれの特性に配慮することで、負担なく能力を発揮できるようなものを目指す。またこれらの統一。 (32年度) 絶えず確認と場合によっては検証を行い、その都度変更事項については統一し取り組んでいく。「不良品ゼロが当たり前」の感覚をもって作業にあたることができるよう、外注業者との連携も密にとりながら製品づくりに取り組む。	鎌田	
食堂事業	売上・工賃アップ	(30年度) 売上現状維持 (31年度) 集客(特に一般客)10%増 (32年度) 売上10%増	(30年度) 安定した集客を図るためのメニュー考案。 (31年度) 市役所職員だけでなく一般客にも利用していただくために、季節に合った野菜やドリンク・デザートを取り入れ、手作りにこだわったランチの提供。 (32年度) 地元野菜を使用し、仕入れ値を抑える。安心安全の料理提供を心掛け、リピーターを増やす。	高橋(菜)	
クリーンセンター	請負業務の安定化	(30年度) 維持 (31年度) 利用者の増員 (32年度) 安定	(30年度) 受付業務・清掃業務ともに、現在関わっている利用者で行う。 (31年度) それぞれの業務に関われる利用者を増やす。 (32年度) 業務が安定して遂行できるよう努める。	鎌田	
その他の事業	イベントに参加する機会を増やす	(30年度) 前年度と同じ数のイベントに参加する (31年度) 前年度よりイベントに多く参加する (32年度) 調整	(30年度) 前年度より職員数が減り、参加が難しいこともあるが、なるべく前年度と同じ数のイベントに参加する。 (31年度) 前年度より1つでも多く参加する。 (32年度) 新規のイベントにも参加する。	石黒	

5 県が実施する支援策について

問1 (1)～(6)について該当する項目に○を付けてください。下記以外で希望する支援がある場合には(7)に記載してください。

	過去に支援を受けたことがある ↓	今後支援を希望する ↓
(1) 企業の経営手法の導入		
・ 専門家(経営)の派遣	○	
・ 役員、管理者向けの経営セミナーの開催	○	
(2) 技術指導の強化		
・ 専門家(技術)の派遣		
・ 農業との連携事業における農業技術取得支援		
(3) 他産業等との連携の促進		
・ 農業分野との連携による施設外就労、施設内農業等の促進		
(4) 受注・販路の拡大		
・ 民間企業、行政機関等への発注の呼び掛け	/	
・ 県の官公需における発注目標の設定、優先発注等の庁内周知	/	
(5) 共同化・連携の推進		
・ 共同受発注機能の推進	/	
(6) 説明会や研修等の実施		
・ 工賃引上げの取組を活用した好事例の紹介、説明会		
・ 就労支援事業所経営支援研修会		
(7) その他(自由記載)		

問2 農福連携について質問します。

(1) 事業所の作業で農業に携わっていますか。該当するものすべてに○を付けてください。

自身の事業所で農作物の生産を行っている。	○
施設外就労として農業者や漁業者の作業を受託している。	
農作物や水産物の加工を行っている。	
全く関わっていないが、興味はある。	
全く関わっておらず、現在のところ予定もない。	

(2) 農福連携を実施する上での課題と考えられるものすべてに○を付けてください

周年での作業が確保できない。	
農業に興味はあるが、農業者とつながりがない。	
今の人員体制では対応できない(人員不足)。	○
施設職員に農業に関するノウハウがない。	
農作業を行う場所までの移動	
施設外で利用者が農作業を行う際の安全対策	
施設外で利用者が農作業を行う際の設備(トイレ、休憩所等)	
農業者の障がいに対する理解促進	

(3) 以下の取組で興味があるものすべてに○をつけてください。

農業の専門家等のアドバイザー派遣	
農業者と事業所をつなぐマッチング支援	
施設職員を対象とした農業セミナー	
事業所が生産した農産物や加工品等を販売するマルシェへの参加	

(4) 農福連携に関して希望する支援があれば自由に記載してください。